

既存施設の有効利用と駐車場の件について

藤田 芳広議員

**質問** 遊休施設を積極的に賃貸する考えはないのか。

松下寿電子跡地の職員駐車場の使用料は支払われているのか。受益者負担の考えも必要と思われるがどうか。

**答弁** 民間貸与を含め早急に前向きに検討する。跡地の駐車場使用料は土地開発公社と協議中で、職員間の不公平が生じないよう他市の動向をみて有料化を検討する。

水と緑を大切に共生の町づくり

**質問** 三豊市内の恵まれた自然環境保全の現状把握と、自然災害対策を含む維持管理はどう考えているのか。

**答弁** 現状把握は出来てないが、現在三豊市環境基本計画を策定中で、市内の美しい自然をプラスの資産と考え、環境施策の面から市民の意識改革の啓発に努めながら協力を得て、保全管理に配慮していく。

障害者自立支援法について

瀧本 文子議員

**質問** 10月から、これまでのサービスが受けられるか、不安の声が聞かれる。利用者1割負担や廃止される事業に対し、市独自の軽減措置・事業の継続を。

**答弁** 市独自の軽減措置は考えていない。現在行っているサービスは、利用出来るよう対応していく。

**質問** 小規模作業所は、引き続き支援を。

**答弁** 安定運営に努力する。

同和行政について

**質問** 運動団体は、自らの資金で自立した活動が基本。

団体補助金（部落解放同盟1,490万円、自由同和会100万円）は見直し・廃止すべき。行革の中で、同和関係補助金等も例外なく見直しが必要。

**答弁** 差別は根強く残り、運動団体と協力が必要だが、団体補助金・公園維持費・網の目行動など、行革の中で再検討していきたい。

寿工芸跡地の利活用について

詫間 政司議員

**質問** 当地は、7町の合併協定で三豊市の本庁舎と位置づけられている。

市長は、4年間の本庁舎建設凍結を公約に掲げ、初代市長となられた。時価16億円の価値のある当地を4年間どう活用するお考えか。案の中に、借金穴埋め目的の売却案はないか。

**答弁** 合併協議の確認事項は尊重されるものだ。しかし、民意で選ばれた者として現状を見極め、これからの三豊市に何が必要かを見失わないことと考える。

当地は、三豊市の資産の中でも最優良の土地だと思っている。市民の思いと市の将来を思い決断する、非常に重要な問題とも思っている。借金穴埋め目的の安易な売却の考えは全くない。

利活用案の決定は、その時間をかけず決断したい。

合併協議会で決めた庁舎防災センター

金丸 勉議員

**質問** 合併協議で決めた4年をめどに、豊中町本山甲に特例債で建設するとなっていて、全戸配布の概要書に明記されておりあります。

防災センターの建設は、住民の安心安全を守る為、また防災資材や食糧・毛布・排便袋・幼児のミルク等の備蓄を急ぐので、工芸跡地の事務所に仮防災センターを設置と決めた。それがどうして自治労働員組合の事務所になったのか、その理由は。光熱費・水道代・浄化槽管理代はどうなっていますか。

**答弁** 私達は、市民の選挙で選ばれ、協議会の流れを変えることが出来ます。防災センターの整備は、有り余る施設があるので必要ないものと考えます。

職員組合事務所としての使用は、市長職務執行者が決裁をして使用させています。

三豊市の水道事業について

眞鍋 時敏議員

**質問** 取水制限が実施された場合の渇水対策として、旧町の水道管の接続をしては。

**答弁** 渇水時や緊急時の迂回路、バイパス路を確保する観点から、旧町の送配水管を接続して給水する方法は、合併効果を住民の皆様が実感する重要な施策で、急ぐものは前倒し施工により迅速に対応していきます。

**質問** 水資源機構吉野川局が、山本町に建設中の原水調整池の地元市としてこの機会をとらえ、工業用水配水について、関係各機関に働きかけをしては。

**答弁** 企業から新規設備投資に伴う工業用水の増量の要望がありますが、工場用水に振り向ける水源確保が出来ていないのが現状です。この調整池を一つの契機に、今後、水資源機構や県議会並びに県水道局に対し、要望を強めて参ります。



高瀬原下工業団地の現状を尋ねる

多田 治 議員

**質問** 市の土地開発公社が所有する原下工業団地は、簿価と実勢価が著しく異なり、大幅な事業損失が予想されるが、現状と今日に至った経緯と役員の実任追及を、どう考えているのか尋ねる。

**答弁** 当団地は、農村地域工業等導入促進法に基づき、平成5年度より用地買収や造成工事を始め、平成11年3月に完成させ、以降高瀬町開発公社が分譲努力をしてきたが、約2万7,600坪が未分譲地として、市土地開発公社に引き継がれた。簿価と実勢価との差額が「特別損失」として、本年度末には13億円強を計上することになる。当時の役員の責任問題については、現在公社の中で、引継ぎに関する詳細事項の点検を行っているので、状況報告を受けた後、検討すべきと考えている。

くらしと健康を守る市政運営

岩田 秀樹 議員

**質問** 全国で療養病床を23万床削減する方針だが、市立病院など療養病床削減に対する対策はどうか。

**答弁** 突然決定された制度改革により、利用者が追い出されるということが決して起きないように配慮し検討する。

**質問** 国民健康保険税の、今後の値上げも予定されている。負担力の少ない市民も、安心して医者に掛かれる減免の追加は出来ないか。

**答弁** 三豊市の減免規定は、災害・農産物の減収以外にないが、減免措置の可能性があれば対応したい。

**質問** 入札結果のホームページ公表・全入札参加有資格者に発注できる方法として「住宅リフォーム助成制度」や「小規模工事契約制度」を検討出来ないか。

**答弁** 入札結果は10月より公表。様々な制度については検討する。

三豊市カントリーウォークの推進を

宝城 明 議員

**質問** 三豊市には、四季折々の特色ある自然、文化、地域に根ざした歴史や景観など、誇るべきものがたくさん残されている。各地域にカントリーウォークのマップを作っているかどうか。

更にカントリーウォークを奨励し、市民の健康増進のため、市民が各地域のすばらしい文物や自然に親しむと共に、市民の一体感の醸成を図ってはどうか。

**答弁** 住民がそれぞれの地域を知ることによって、三豊市内の相互理解の醸成、また市民の歩くことよっての健康増進など、多様な効果が期待できる。このテーマについては、今後商工観光課を中心に責任部局にして、積極的に取り組んでいく。

**質問** 広報紙の中に、地域だけのページを作っては。

**答弁** 情報政策課で検討する。

現在のサービス、「大綱」(案)に異論

三木 秀樹 議員

**質問** 最近、憲法が保障している公共サービスの悪化が見られ、危惧するが市長の考えは。

**答弁** 変化してもセーフティネットは必要。

**質問** 高齢者に極端な税負担増を強いている。町時代同様に、70歳以上の健康診断は無料に出来ないか。

**答弁** 1割負担はお願いしたい。

**質問** 三豊市行政改革大綱(案)に対して、地方自治の神髄が完全に欠落している。コスト面のみを強調し、職員の手を動かす施策がないのではないか。

**答弁** 市の適正規模及びいかに知恵を使うか、今我々に問われている。

**質問** 地方交付税が、今後激減する。その度に職員削減が。展望の無い市になるのではないか。

**答弁** 来年度から総合振興計画で示す。

他に2問質問した。

自主財源確保及び職員の服務規程について

鴨田 偕 議員

**質問** 歳出の削減も大事だが、自主財源確保の施策について伺う。

**答弁** 持続性のある三豊市を作るためには、地域の経済振興は大事な事です。行財政改革を進める中で、充実した長期振興計画や総合計画を策定します。その中で、農業を中心とした第一次産業の現代的経営の確立、地場産業の隆盛、企業誘致等、経済振興対策を進め、自主財源の確保に努めます。

**質問** 合併後、職員の服務規程及び懲戒処分基準の統一は出来ているか。

**答弁** 現在のところ統一は図られていないが、飲酒に絡んだものについては、厳罰主義を取り入れ早急に示します。



市議会だより

一般質問

